

○ 今後のスケジュール（案）

当公園の年間来園者数は、現在 82 万人（横須賀美術館を除く）ですが、今後、年間 100 万人以上が訪れる公園となるよう、公園の再生を進めてまいります。

老朽化が進み危険度が増しているエリアや利用が集中するエリアを先行して、詳細の検討を行い、事業を進めます。

ゾーン	主な再生（改修、整備）内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度以降
文化とふれあうゾーン （三軒家園地周辺） 【横須賀美術館との連携やパリエーションに富んだ砲台遺跡にふれあうゾーン】 ・歴史や文化を体感できる場づくり ・海の展望をゆくり楽しめる場づくり ・三軒家砲台、花の広場へのアクセス改善 ・美術館との連携、季節感あふれる植栽	美術館横の園路・広場新設 〔「四季と海を感じる林」の新設〕	美術館横の園路広場の新設				東京湾が一望できる広場の整備	
	三軒家園地の改修						
	園路・広場の新設 〔「育みの森と在来種増殖ゾーン」を整備〕						美術館から花の広場への園路と在来種増殖ゾーンの新設
	三軒家砲台群を活用した広場の改修						三軒家砲台群を活用した広場の改修
自然へのいざないゾーン （旧青少年の村周辺） 【公園のメイン入口として、ふれあいや自然と公園の基礎情報を提供するゾーン】 ・インフォメーションの機能の強化 ・管理機能、休憩機能の強化 ・海の自然遊びの機能強化 ・地域参加でにぎわいの創出	旧青少年の村(1号館)の改修 〔パークセンター・展示スペース・多目的利用スペースを整備〕	旧青少年の村除却工事 〔管理棟・炊事棟・外構などの撤去〕 （県青少年課発注）	旧1号館(パークセンター)の建物改修				
	旧青少年の村(2号館)の改修 〔管理棟やボランティアの詰所と資料保存庫を整備〕		旧2号館(公園管理員とボランティア詰所・倉庫)の建物改修				
	旧青少年の村(3号館)の改修 〔研修やイベントで利用する大広間と屋内での宿泊体験学習に対応した施設の整備〕		旧3号館(研修・宿泊棟)の建物改修				
	旧青少年の村(外構)の改修 〔パークセンター広場と野外宿泊体験学習施設(テントサイト・野外炊事棟・シャワー棟など)の整備〕		外構改修(パークセンター広場の整備)と野外宿泊体験学習施設の整備				
	第2駐車場の改修とトイレの新設 〔第2駐車場の駐車容量アップとトイレ不足解消〕	第2駐車場トイレ(市管理)除却 〔横須賀市発注〕	第2駐車場の改修とトイレの新設				
	第4駐車場の改修 〔大型バス用駐車場の整備〕		第4駐車場の改修				
	京急レストハウス周辺の広場の改修				レストハウス周辺	観音崎公園の玄関口となる広場の整備 ※1	
	第1駐車場・トイレ・バスロータリーの改修 〔駐車容量アップ・トイレの更新・バスロータリーの改良〕					第1駐車場、トイレ及びバスロータリーの改修	
	バーベキュー広場の改修 〔洗い場の新設や区画割りなどのルール整備〕					バーベキュー広場の改修 ※2	
	里海体感ゾーン （自然博物館・ビシターセンター・噴水広場周辺） 【砂浜から磯場、海から森へと移り変わっていく多様な自然とふれあえ、公園の自然について学べるゾーン】 ・里海、里山文化の再生と自然体験学習の拠点づくり ・人工的施設を自然の谷戸に再生 ・エコトーン(海から山)の生物多様性の保全、強化 ※3 ・デザインの統一がとれた施設整備と植栽	ビシターセンターの改修 〔「(仮称)ワカ自然体験センター」の整備〕					
自然博物館の機能拡充とテントサイトの整備 〔タフアルやシャワールーム改修による自然体験学習施設の改修とテントサイト等の宿泊体験施設の整備〕							自然博物館の機能拡充とテントサイト広場の整備
噴水広場の改修 〔「谷戸の自然再生ゾーン」の整備〕		落石防止網の整備			ホテルのすむ里山のある自然体験学習の場となる広場の整備		
展望園地と現・第5駐車場の改修 〔「黒船航路を望む広場」の整備と駐車容量アップ〕						展望園地の老朽化更新と現・第5駐車場の駐車容量のための改修	
近代史体感ゾーン （観音崎灯台周辺） 【幕末から明治、そして太平洋戦争終結までの近代の歴史や「海の守り」の歴史をたどるゾーン】 ・歴史的資源の紹介 ・アクセスの改善 ・海の眺望確保と休憩機能の強化	老朽化した園路の改修 〔老朽化園路のすべりやすさ解消とバリアフリー化対策〕				老朽化した主要園路(尾根路/海岸園路/噴水園路)の改修		
	老朽化した灯台下階段の改修 〔既設階段の歩きにくさ解消と老朽化更新〕				老朽化した灯台下階段の改修		
草原あそびゾーン （花の広場周辺） 【広大な草原と、桜や草花等にふれあえるゾーン】 ・草原でのびのび遊べる場づくり ・広がりのある地形を活かした原っぱ(花の風景)づくり ・草花や昆虫を育むためのミニファの場づくり ・休憩機能の強化	花の広場の改修 〔「桜の花見ができる広場」の整備〕					花の広場を桜の花見ができる広場とするための整備	
	花の広場横への駐車場の新設					花の広場横への新規駐車場の整備 ※4	
里山体感ゾーン （森のロッジ周辺） 【人と良好な関係を築いてきた里山とふれあえるゾーン】 ・里山再生(自然ふれあい協働体験) ・自然遊び、自然体験学習機能の強化 ・安全、安心に利用できる空間の確保	果実の森周辺の広場改修 〔里山体験学習の場の整備〕						果実の森を改修して里山体験学習の場となる広場の整備

注1) 本スケジュール表は、設計委託から工事等までの再生（改修、整備）内容についておおよその年度計画をバーチャートで示したものです。今後、具体の詳細設計を行い、予算の状況に応じて再生を図ってまいります。

注2) 補足事項 (※1) 都市計画公園区域内にあるレストハウス周辺の公園入口機能の向上については民間企業と協議を進めます。

(※2) 「バーベキュー施設」の整備、運営方法について、具体化のための協議を行います。

(※3) 都市計画公園区域内にある「海上自衛隊管理地」については、公園区域への編入などについて調整を行います。

(※4) 草原遊びゾーンの「駐車場の新設」について、地元自治会等と協議を進めます。